



令和8年度 製品・サービスの カーボンフットプリントに係るモデル事業

(業界団体・企業群支援)
事業概要

2026年5月19日

環境省地球環境局地球温暖化対策課
脱炭素ビジネス推進室



■モデル事業（業界団体・企業群支援）の概要

■共通ルール策定支援事業について

■普及促進支援事業について

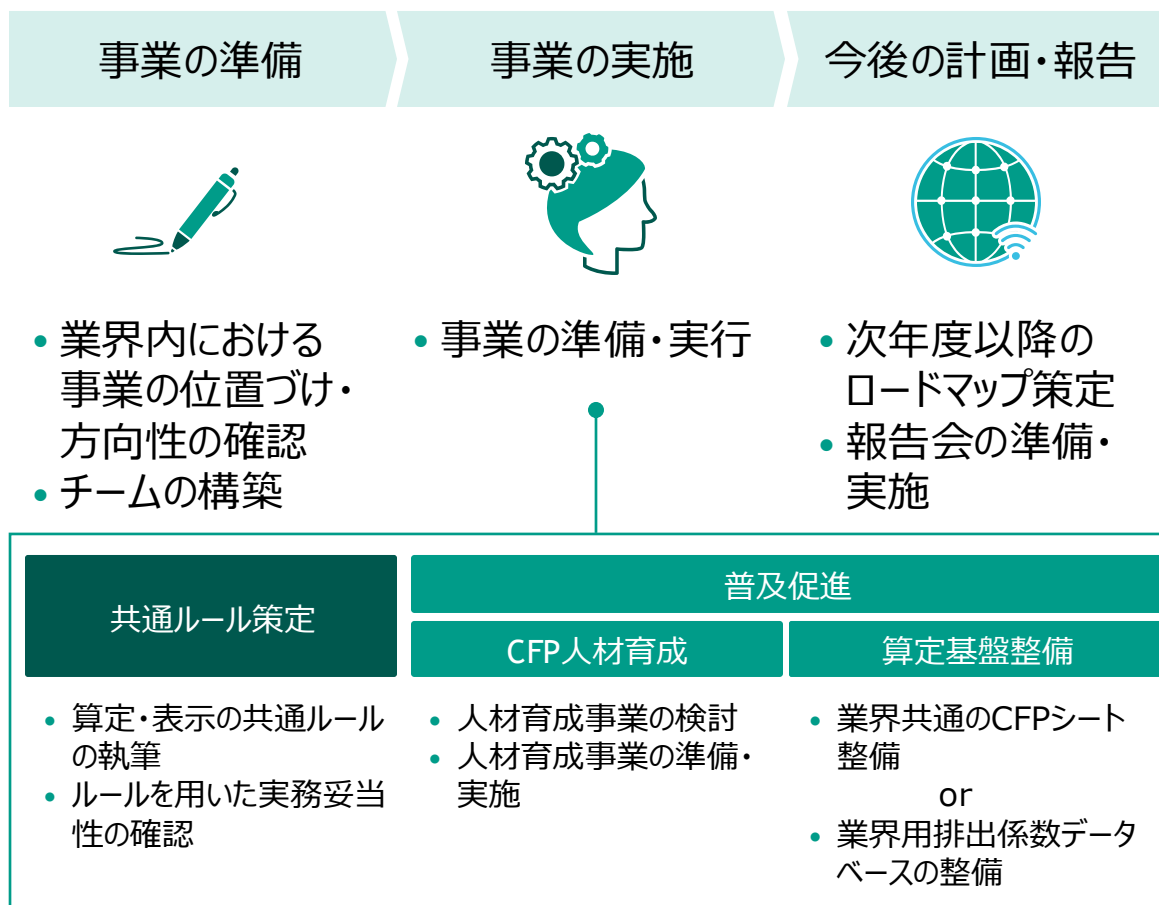
モデル事業の概要（業界団体・企業群支援）

- CFPの算定や表示に取り組む意欲のある業界に対して、「共通ルール策定」と「CFP普及促進」の2つの支援を行う

背景と目的

- 「消費者が積極的に脱炭素に貢献する製品・サービスを選択できる社会」を実現するためには、購買活動における気候変動影響が、CFPを通じて消費者に「見える化」される必要がある
- 他方、個社のみでCFPの算定・表示を行うことは難易度が高く、業界によるCFPの算定・表示ルールの共通化や、CFP算定・表示に係る人材育成や算定基盤の整備が求められている
- 本事業では業界団体又は業界のリーディング企業群によるCFPの算定・表示ルールの共通化および業界内でのCFPの普及促進に向けた取組を支援する

事業全体の流れ





事業・対象団体及び対象製品・サービスのイメージ

- ルール策定はCFPの共通ルールがない、もしくは古くて更新の必要がある業界が対象。普及促進はCFPの共通ルールを有しており、CFP算定・表示のニーズが高まっている業界が対象
- 体制や対象の製品・サービスの条件は2事業で同様

	共通ルール策定	普及促進
対象の業界	以下のいずれかを満たす業界 <ul style="list-style-type: none"> ● CFPの算定や表示の共通ルール等¹がない ● 共通ルール等はあるが、古くて更新したい 	以下の両方を満たす業界 <ul style="list-style-type: none"> ● CFPの算定や表示の共通ルール等¹がある ● 業界内でCFP算定・表示ニーズが高まっている
対象の体制パターン	業界団体+業界のリーディング企業群 もしくは、 業界のリーディング企業群	
対象の製品・サービス	複数の製品・サービス群	
	望ましい例 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>化粧品</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>衣類</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>外食での 多様なメニュー</p> </div> </div>	望ましくない例 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>口紅</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>Tシャツ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ハンバーガー (外食)</p> </div> </div>

1. 必ずしもルールである必要はなく、ガイドライン等でもよい



(参考) 令和6・7年度 モデル事業参加団体 (業界団体・企業群支援)

■ 令和6年度と令和7年度の業界ルール策定モデル事業では、CFPの算定や表示ルールの共通化に向けた取組を実施した

令和7年度モデル事業

化粧品業界

- 日本化粧品工業会
- 株式会社コーセー
- 株式会社I-ne
- 花王株式会社
- 牛乳石鹼共進社株式会社
- 株式会社資生堂
- 株式会社ファイントウデイ
- 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
- 一丸ファルコス株式会社

参加団体

プラスチック容器包装業界

- プラスチック容器包装リサイクル推進協議会
- PETボトル協議会
- TOPPAN株式会社
- ZACROS株式会社
- 大日本印刷株式会社
- 東洋製罐株式会社

令和6年度モデル事業

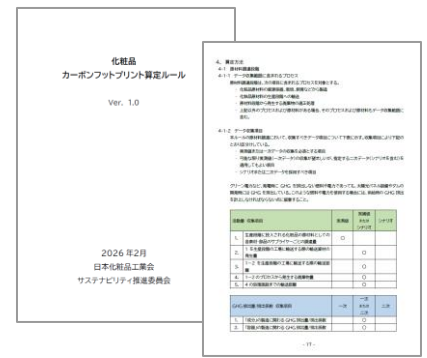
文具・事務用品業界

- 一般社団法人全日本文具協会
- プラス株式会社
- コクヨ株式会社
- シヤチハタ株式会社
- ニチバン株式会社
- 株式会社リトラブ
- ゼブラ株式会社

履物業界

- チヨダ物産株式会社
- 東邦レマック株式会社
- TOSMAX株式会社
- 株式会社ダイマツ
- 山三商事株式会社

CFP算定ルール



CFP算定ルールおよび解説書



CFP表示ルール



CFP算定及び表示ルール



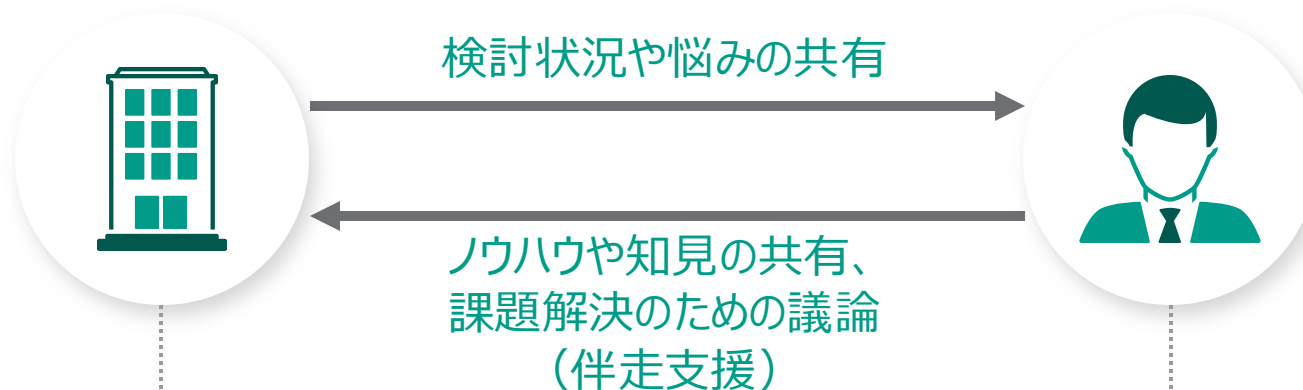
策定したルール

本事業の実施方法

■ 参加団体は、コンサルタント等の支援を受けつつ、自らが主体的に検討を進める

参加団体

コンサルタント/検証機関



実施内容

支援内容

共通事項

- 関連データ/情報収集
- 関係者合意形成
- ロードマップの策定

事業別
事項

共通ルール
策定

- 算定・表示の共通ルール策定

普及促進

- CFPの人材育成
- 算定ツール・データベース作成

- 検討の進め方案のご提示
- 取組方法の解説
- 検討の進め方や内容に関するアドバイス 等

モデル事業に取り組む上での留意事項

- 円滑な事業推進体制の構築や、CFPのロールモデルを創出するという観点から、取組に関する積極的な発信が求められる

円滑な事業推進

業界に広く影響力がある団体や企業が参加し、主体的な取組に向けた事業推進体制を構築する

- 必要なリソースを確保し、参加者の役割を分担する（リーダー、執筆責任者等）

業界におけるCFPの中期的な目標や本モデル事業のゴール・取組を明確化する

- 共通ルール策定に取り組む製品やサービス群を明確化する（共通ルール策定支援事業のみ）
- 業界内で共通ルール等を保有しており、本事業で実施したい取組が明確である（普及促進支援事業のみ）

ロールモデルの創出

環境省/政府が事業に関して発信・発表することに対し、積極的に協力する

- CFP実践ガイド¹や環境省が作成する人材育成に関するコンテンツに、本事業における取組を記載する
- 報告会や脱炭素経営フォーラム²（仮称）にて、本事業における取組や成果を発表する

業界としてのCFPへの取組を発信し、企業は本事業での取組成果を積極的に活用する

- 本事業への取組やその成果を对外発信・発表し、消費者の行動変容に貢献する
- 取組成果やロードマップは本事業終了後も活用し、CFPの取組を拡大する



脱炭素経営フォーラム
(2025年度)の登壇の様子

※上記は留意事項のため、具体的な採択基準が知りたい方は、P11をご参照ください

※本事業に関するお問い合わせ先はこちら

事務局：ポストン コンサルティング グループ合同会社 (E-mail : MOEcfp@bcg.com)

担当課室：環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 脱炭素ビジネス推進室 (Tel : 03-6205-8277 (直通))

事業説明会の実施（2事業共通）

- 事務局より本事業についてご説明するほか、前年度のCFPモデル事業の参加団体より具体的な取組内容をご紹介いただく
- さらに、Q&Aセッションで疑問点や懸念点等についてお答えする

概要

実施日 5月27日(水) 11時00分～12時00分

実施方式 Zoomウェビナー（オンライン）
※アーカイブ配信を行う予定

目的 応募を検討している団体・企業等の
懸念点・疑問点を解消する

申込先 <https://www.113.vovici.net/se/13B2588B4B81D6C7>

申込〆切 5月26日(火) 18時



アジェンダ (予定)

- 事業の趣旨
環境省
- 事業概要・CFPの説明
事務局
- 前年度CFPモデル事業参加者の声
プラスチック容器包装業界
TOPPAN株式会社 高澤 宇史
 - 事業参加の背景・理由
 - 参加企業を募った方法
 - 策定したルール
 - ルール活用の方向性
- SAGA COLLECTIVE協同組合
山口 真知
 - 事業参加の背景・理由
 - 昨年度事業で実施したこと
 - CFP普及に向けた今後の展望
- Q&A
事務局及び昨年度参加者

■モデル事業（業界団体・企業群支援）の概要

■共通ルール策定支援事業について

■普及促進支援事業について

モデル事業で取り組む具体的な内容

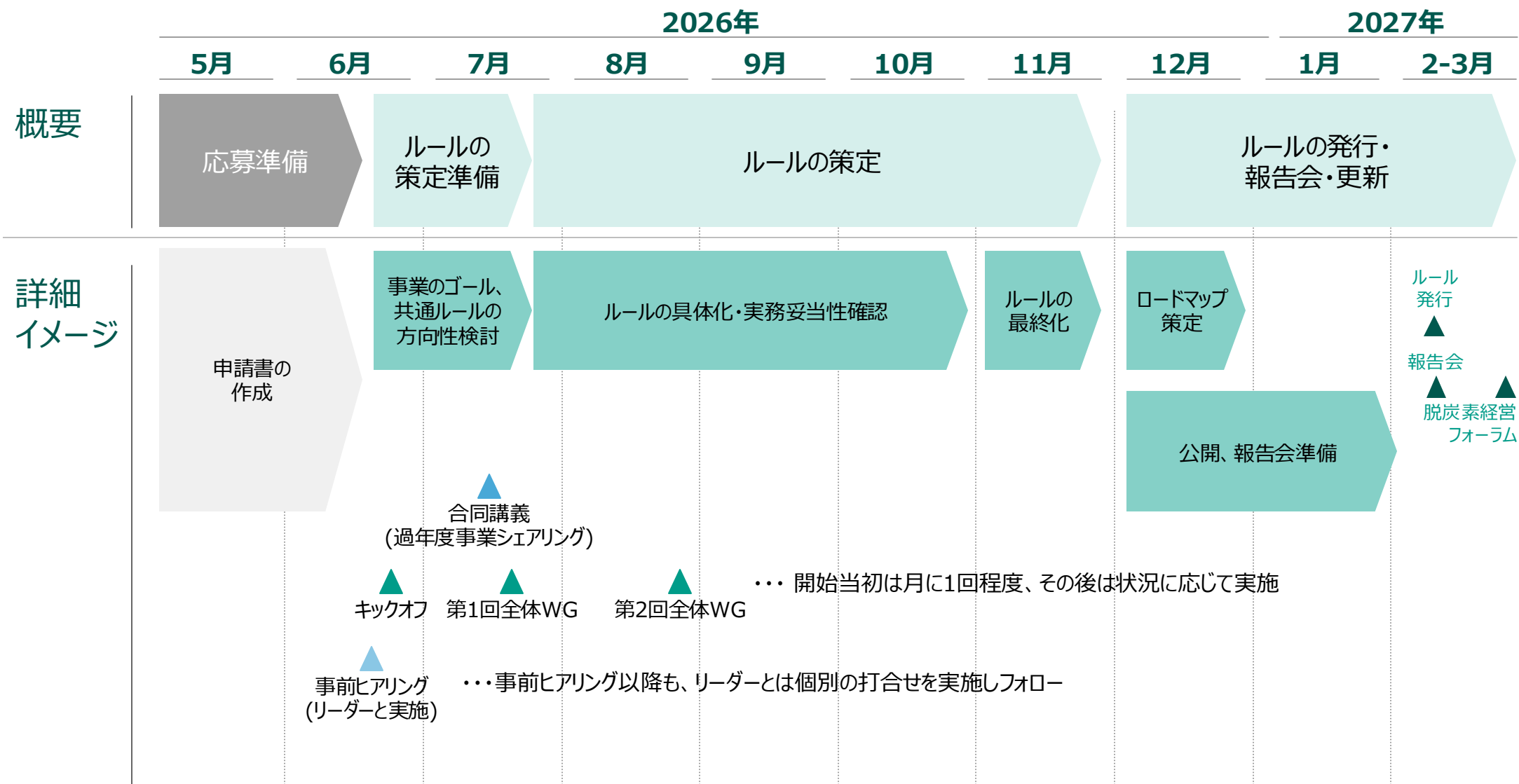
■ CFPの共通算定/表示ルール策定に向けた準備、ルールの策定、ルールの発行・報告会・更新に取り組んでいただく



- 対象設定
- メンバー募集
- 役割分担
- スケジュール設計
- 中長期・短期 (例: 5年後・半年後) のゴールの明確化
- ルール活用の方向性検討
- ルールの設計指針検討
- 既存ルールの調査
- ルールの項目検討・議論の必要性分類
- ルールの案作成
- 確認事項の検討
- ヒアリング
- ルールの最終化
- (必要に応じて) ロードマップの策定
- ルールの発行
- ルールを活用する可能性のある方 (業界の関係者等) へ周知・活用推進のための報告会を実施
- (必要に応じて) ルールの更新

スケジュール

■ 約8か月にわたって、共通ルール策定支援事業の検討実施を支援する



参加団体の採択において考慮する主な観点

- 以下の観点を考慮して採択する団体を決定する
(採択にあたっては、必要に応じてヒアリング等を実施する可能性がある)

	基準の概要	必須	加点
スムーズな事業運営	① 本事業を正しく理解しており、ルール策定に取り組む製品・サービス群が決まっている	✓	
	② 検討に必要なリソースを確保しており、参加者/企業の役割分担が明らかである <ul style="list-style-type: none"> ・ 議論のとりまとめを行うリーダーや執筆責任者が決まっている ・ ルールの最終化のプロセスが明らかである 	✓	
波及効果	③ GHG/CFP算定もしくはLCA実施の経験があり、実務を理解している企業が参加する		✓
	④ 本モデル事業での取組内容についての環境省/政府からの発信に協力できる	✓	
	⑤ 本モデル事業での取組内容についての参加業界団体/企業からの発信を積極的に行う		✓
	⑥ 業界に広く影響力がある団体や企業が参加し、CFPを業界に幅広く普及することが見込まれる		✓
継続性	⑦ 業界内におけるCFPの活用のあるべき姿とそこでの本事業の位置づけが明確である	✓	
インパクト	⑧ 脱炭素へのインパクトが大きい <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民の利用頻度が高い等、対象とする製品・サービスの社会的インパクトが大きく、消費者の行動変容への影響力がある ・ ライフサイクル排出量が多い業界であり、排出量削減に取り組むインパクトが大きい 		✓

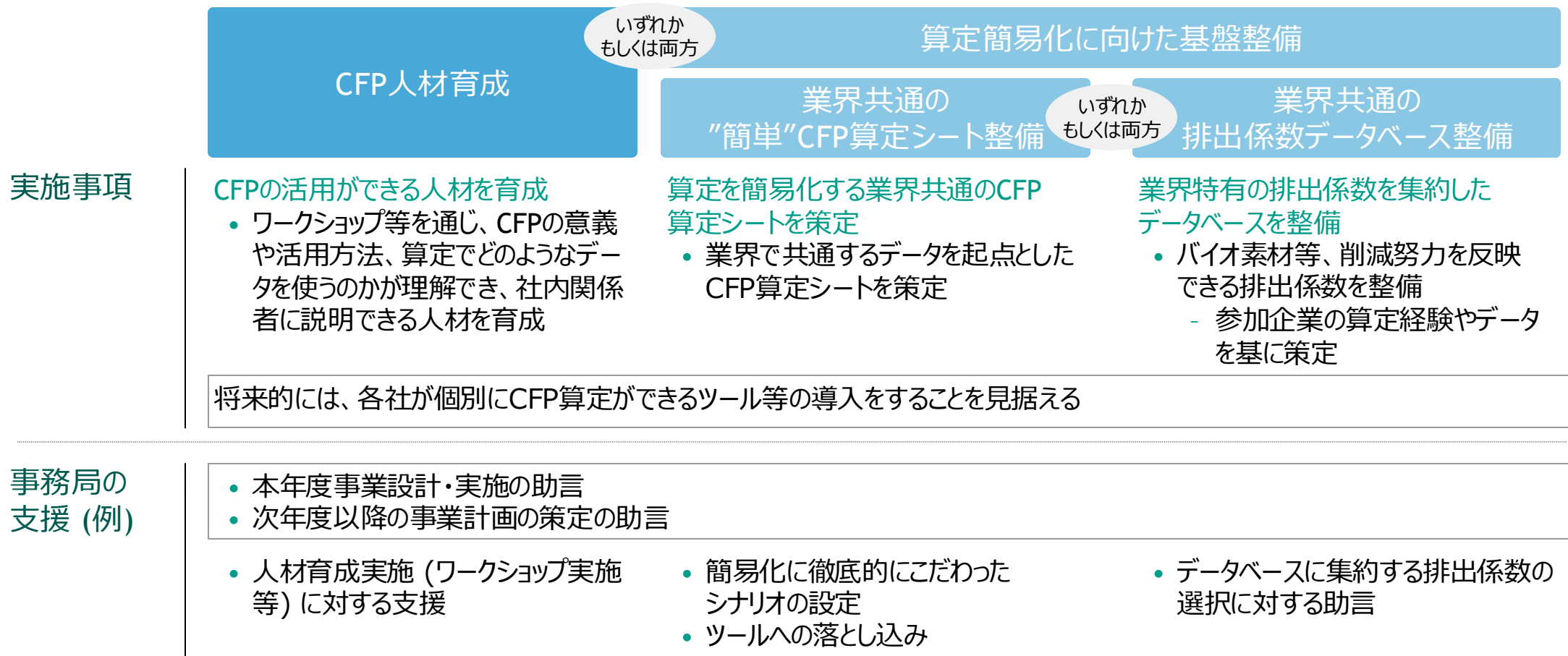
■モデル事業（業界団体・企業群支援）の概要

■共通ルール策定支援事業について

■普及促進支援事業について

普及促進事業で実施する事業の例

- 事業での実施内容は採択団体の意向を尊重して、柔軟に対応する
- 例えば、普及促進事業の例としては以下に挙げるようなものが考えられる



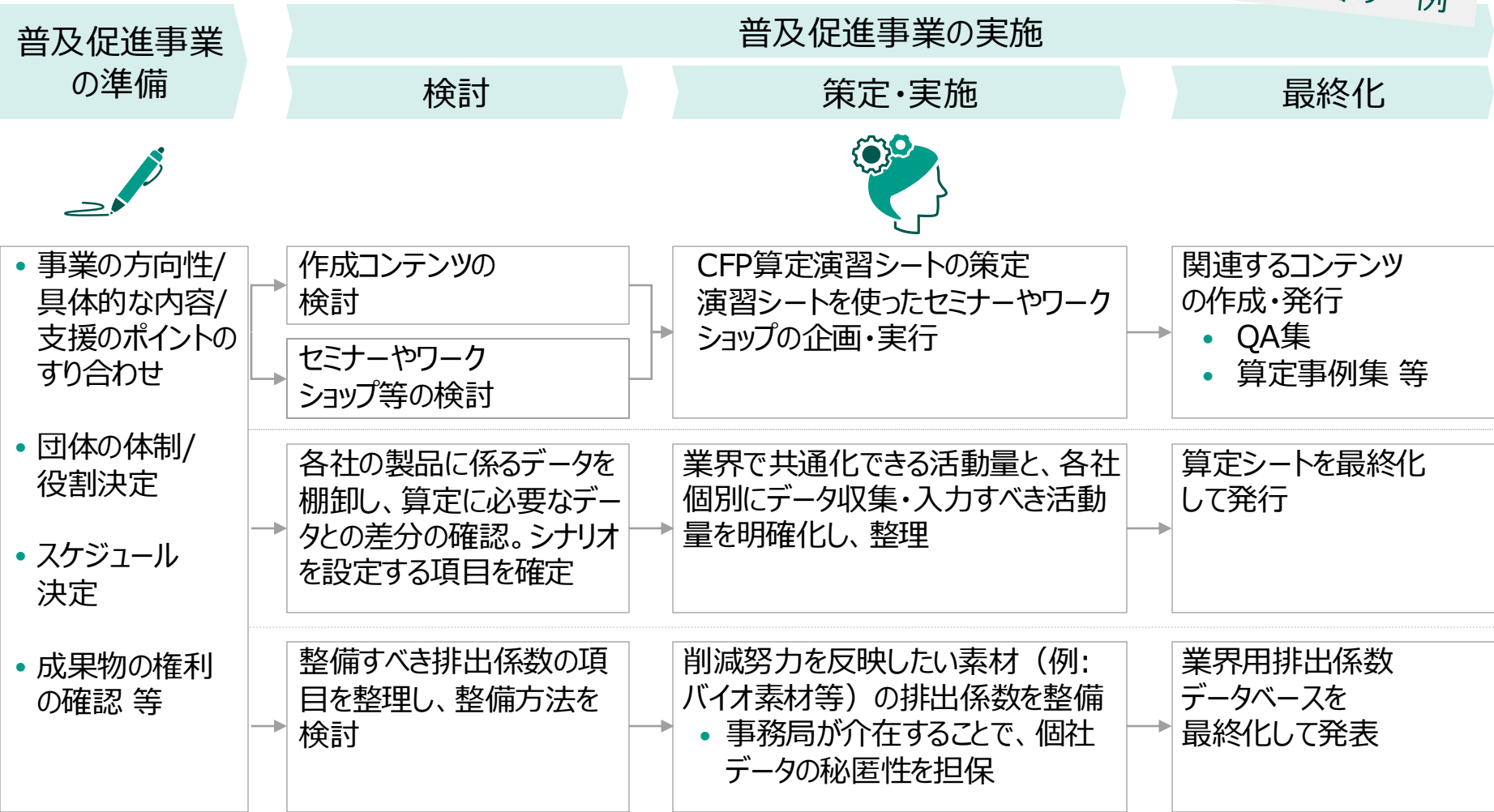
将来的には、各社が個別にCFP算定ができるツール等の導入をすることを見据える

※上記は一例であり、これに留まらず、業界のCFP普及促進に資する事業であれば、対象とする

モデル事業で取り組む具体的な内容（例）

■ 業界内におけるCFP算定・表示の普及促進に向けた事業の検討、事前準備、事業実施に取り組んでいただく

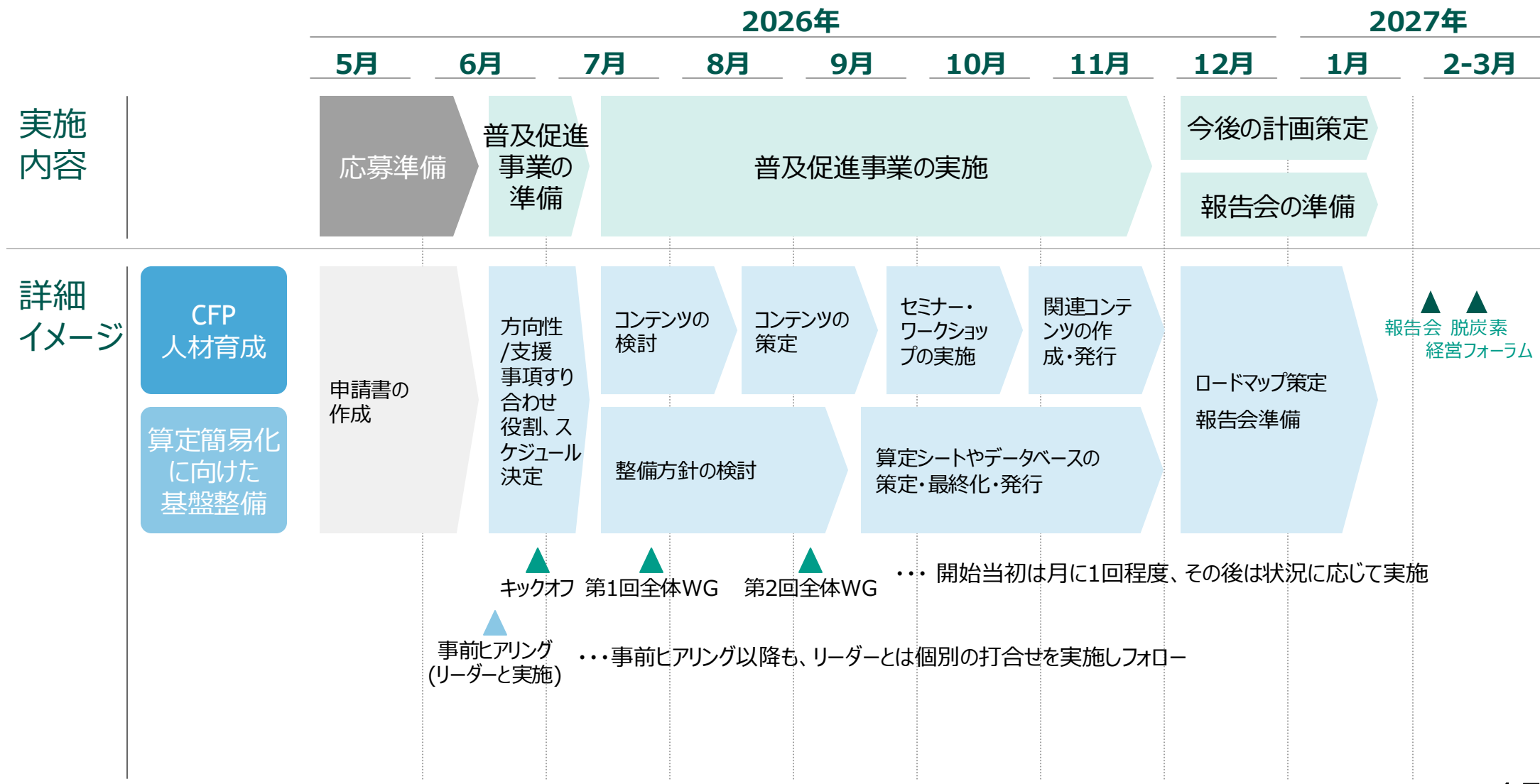
実施内容の一例





スケジュール

■ 約8か月にわたって、参加団体の意向に沿ったCFPの普及促進事業の検討・実施を支援する



参加団体の採択において考慮する主な観点

- 以下の観点を考慮して採択する団体を決定する
(採択にあたっては、必要に応じてヒアリング等を実施する可能性がある)

基準の概要

		必須	加点
スムーズな 事業運営	① 業界内でCFP算定や表示の共通ルールやガイドラインを保有している	✓	
	② 本事業を正しく理解しており、実施したいことが明確である	✓	
	③ 検討に必要なリソースを確保しており、参加者/企業の役割分担が明らかである <ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点のスケジュール案・想定される課題が明確である ・ 事務局に求める支援内容が明確である* 	✓	
波及効果	④ GHG/CFP算定もしくはLCA実施の経験があり、実務を理解している企業が参加する		✓
	⑤ 本モデル事業での取組内容についての環境省/政府からの発信に協力できる	✓	
	⑥ 本モデル事業での取組内容についての参加業界団体/企業からの発信を積極的に行う		✓
	⑦ 業界に広く影響力がある団体や企業が参加し、CFPを業界に幅広く普及することが見込まれる		✓
継続性	⑧ 業界内におけるCFPの活用のあるべき姿とその中での本事業の位置づけが明確である	✓	
インパクト	⑨ 脱炭素へのインパクトが大きい <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民の利用頻度が高い等、対象とする製品・サービスの社会的インパクトが大きく、消費者の行動変容への影響力がある ・ ライフサイクル排出量が多い業界であり、排出量削減に取り組むインパクトが大きい 		✓

